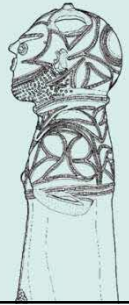
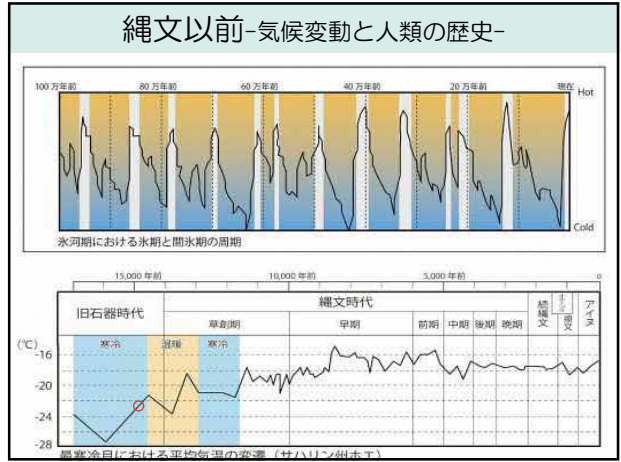


拠点機能のあり方
に関する懇談会

ユネスコ世界遺産と縄文遺跡群



(一財) 道南歴史文化振興財団
アドバイザー 阿部 千春



旧石器時代

北海道の細石器
20000~12000年前
千歳市柏台遺跡 斜里町越川遺跡




晩遺跡の細石刃 (帯広市)




縄文文化の概要

	B.C.13,000	B.C.8,000	B.C.3,000	B.C.2,000	B.C.1,000	B.C.300	A.D.300	A.D.600	A.D.800	A.D.1,200	
日本	縄文時代						弥生時代	古墳時代	飛鳥時代	平安時代	鎌倉時代
北海道	縄文時代						縄文文化	縄文文化	縄文文化	縄文文化	縄文文化
中国	旧石器時代	中石器時代	新石器時代	青銅器時代	鉄器時代	ローマ帝国					



【概要】 日本列島の多様な自然環境のなかで、漁労・狩猟・採集を生業として定住生活を実現し、1 万年以上も大きな争いもなく存続した先史文化



ユネスコ世界遺産とは何か

(世界の文化遺産及び自然遺産の保護に関する条約)
Convention concerning the protection of the world cultural and natural heritage

【定義】

地球の生成と人類の歴史によって生み出され、過去から現在へと引き継がれてきたかけがえのない宝物で、現在を生きる世界中の人びとが過去から引継ぎ、未来へと伝えていかなければならない人類共通の遺産。(文化遺産/自然遺産/複合遺産)

- 1972年制定 締約国193カ国
- 2021年7月現在、世界遺産は1,154件
(文化 897件、自然 218件、複合 39件)
(日本の世界遺産：文化20件、自然5件)



ユネスコ世界遺産一覧表への記載基準

1. 世界的な視点から「顕著な普遍的価値」

Outstanding Universal Value を有すること。

- 真実性 (オリジナルの状態を維持)
- 完全性 (価値を表すものの全体が残っている)

2. 将来にわたり保護するための保存・管理体制があること。

OUVの基準 (CRITERIA)

- 人類の創造的天才の傑作を表現するもの。
- ある期間、ある文化圏において、建築、技術、記念碑的芸術、町並み計画、景観デザインの発展に関し、人類の価値の重要な交流を示すもの。
- 現存、または消失した文化的伝統、または文明の唯一、または希な証跡となるもの。
- 人類の歴史上重要な時代を例証する、ある型式の建造物、建築物群、技術の集積、または景観の顕著な例。
- 特に回復困難な変化のもとで損傷されやすい状態の、ある文化、あるいは環境と人間の相互作用を代表する伝統的集落、または土地利用の顕著な例。
- 顕著な普遍的意義を有する出来事、現存する伝統、思想、信仰、または芸術的、文学的作品と直接または明確に関連するもの。
- 最も素晴らしい自然の現象、または一際優れた自然美をもつ地域、及び美的な重要性を含むもの。
- 地球の歴史上の主要な段階を示す顕著な見本であるもの (生物、地形)。
- 陸上、淡水、沿岸、及び海洋生態系と動植物群集の進化発展において進捗しつつある重要な生態学的、生物学的プロセスを示す顕著な見本。
- 生物多様性の本来的保全にとって、最も重要かつ意義深い自然生息地を含んでいるもの (絶滅の恐れがあるものを含む)。

縄文遺跡群のOUVとアトリビュート

北東アジアにおいて長期間継続した採集・漁労・狩猟文化による定住の開始、発展、成熟の過程及び精神文化の発達をよく表しており、農耕文化以前における人類の生活の在り方と精緻で複雑な精神文化を示す物証。(iii・v)

アトリビュート

- 属性a: 自然資源を巧く利用した生活の在り方を示すこと
- 属性b: 祭祀・儀礼を通じた精緻で複雑な精神性を示すこと
- 属性c: 集落の立地と生業との関係が多様であること
- 属性d: 集落形態の変遷を示すこと

ユネスコ世界遺産登録への歩み

「北の縄文文化回廊づくり」をきっかけにスタート

【推進体制】

◎縄文遺跡群世界遺産登録推進本部

本部長: 青森県知事
副本部長: 北海道知事・岩手県知事・秋田県知事及び道県教育長
委員: 遺跡所在14市町長・教育長

○縄文遺跡群世界遺産登録専門家委員会

構成員: 考古、環境、世界遺産の専門家

○縄文遺跡群世界遺産登録推進会議

- 構成員: 4道県及び14市町の管理職
- 担当委員会
- 構成員: 4道県及び14市町の専門職
- 推薦書案策定作業ワーキング
- 構成員: 4道県の専門職

【経過】

- H14年 次年度の4道県知事サミットのテーマを縄文にすることを提案
- H15年 同サミットで「北の縄文文化回廊づくり」が決定
- H16年 同アクションプランがスタート
- H19年12月 4道県知事から共同提案
- H21年1月 ユネスコ暫定リストに掲載
- H25年7月 文化庁へ推薦書案提出 (以降、30年度まで推薦見送り)
- R2年9月 イコモスの現地調査
- R3年5月26日 イコモス勧告 *記載適当

【登録】

7月27日: ユネスコ世界遺産委員会

「北海道・北東北の縄文遺跡群」



